

# 経営情報 2021.11月

## Monthly Report

よい朝のために。

**KYORITSU**  
HOTELS & DORMITORIES  
(東証1部 コード 9616)

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「経営情報 Monthly Report」は、株主様をはじめとするステークホルダーの皆さまに、より弊社をご理解いただくとともに、皆さまのご意見を経営に反映させていただくことを目的として、発信させていただいております。

共立メンテナンスグループ

### セグメント別(事業別) 売上状況

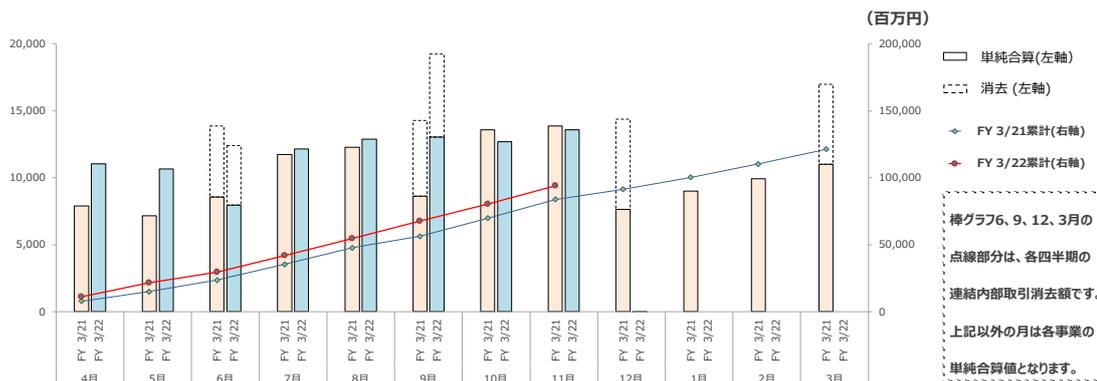
11月の寮事業につきましては、対面授業再開に伴う日本人学生の増加、ドミール事業の定員室数増加による増収効果がありました。留学生の来日の遅れ、特定業界での社員寮需要の減少の影響が出て、単月売上高は微減となりました。ホテル事業は、リゾート事業で、前期のGO TO トラベルキャンペーンの反動がありマイナスでしたが、10月の緊急事態宣言解除後の回復トレンドは続いています (RevPAR MoM+26%)。また、ドミールイン事業も国内レジャー需要の回復が鮮明となり (RevPAR MoM+14%)、全体での単月売上高は前期から3%の増収となりました。総合ビルマネジメント事業につきましては、前期実施した改修工事の反動により、単月売上高は前期を下回る結果となりました。

この結果、11月のグループ売上高は135.8億円となり、前期から2%の減収、11月までの累計ではホテル事業回復及び、不動産流動化事業増収寄与により前期から11%の増収となりました。

※MoM : 対前月比

単位：百万円 (百万円未満切り捨て表示)

	前年同期実績	2021年11月実績 (単月)		前年同期実績	2021年11月実績 (累計)	
			対前期			対前期
寮事業	3,613	<b>3,568</b>	-45 -1%	30,792	<b>30,485</b>	-306 -1%
学生寮	1,790	<b>1,834</b>	+43 +2%	15,084	<b>15,427</b>	+342 +2%
社員寮	1,027	<b>925</b>	-102 -10%	9,374	<b>8,492</b>	-881 -9%
ドミール	432	<b>459</b>	+27 +6%	3,530	<b>3,687</b>	+156 +4%
受託寮	362	<b>349</b>	-12 -4%	2,801	<b>2,877</b>	+75 +3%
ホテル事業	6,522	<b>6,731</b>	+209 +3%	31,284	<b>39,397</b>	+8,113 +26%
ドミールイン事業	3,246	<b>3,664</b>	+418 +13%	16,607	<b>21,614</b>	+5,007 +30%
リゾート事業	3,250	<b>3,036</b>	-213 -7%	14,540	<b>17,643</b>	+3,103 +21%
その他	25	<b>30</b>	+4 +18%	136	<b>139</b>	+2 +2%
総合ビルマネジメント事業	1,453	<b>1,145</b>	-308 -21%	9,907	<b>8,943</b>	-964 -10%
フーズ事業	667	<b>689</b>	+21 +3%	3,578	<b>4,434</b>	+856 +24%
デベロップメント事業	304	<b>200</b>	-104 -34%	9,131	<b>11,595</b>	+2,463 +27%
不動産流動化事業	-	-	- -	-	<b>5,117</b>	+5,117 -
その他	304	<b>200</b>	-104 -34%	9,131	<b>6,477</b>	-2,654 -29%
その他事業	1,308	<b>1,255</b>	-53 -4%	9,976	<b>9,784</b>	-191 -2%
PKP事業	781	<b>717</b>	-64 -8%	5,906	<b>5,645</b>	-261 -4%
シニアライフ事業	134	<b>123</b>	-11 -8%	1,077	<b>1,025</b>	-51 -5%
その他	392	<b>414</b>	+21 +6%	2,992	<b>3,113</b>	+121 +4%
合計	13,869	<b>13,589</b>	-280 -2%	94,670	<b>104,640</b>	+9,969 +11%



(注1) ここに表記している当期の計数情報は、監査法人による会計監査受検前のグループ各社の売上高 (速報ベース) を単純合計したものであり、連結内部取引消去前ベースです。従って、後日確定する財務数値と差異が生じる可能性があります。

(注2) 上記グラフは、四半期末以外の月の単月売上高は注1に記載の売上高ベースで、各四半期末月の単月売上高は当該四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。なお、累計売上高 (折れ線グラフ) につきましては、経過した各四半期の連結内部取引消去額を控除して表示しています。